2021.10

施工説明書

TOTO

シングル混合水栓

TKY01304型
TKY01305型
TKY01306型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

禁　止

湯水を逆に配管しない

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

給湯温度は85℃より高温で使用しない

85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

寒冷地用

水抜コックは水抜き以外の目的で開けない

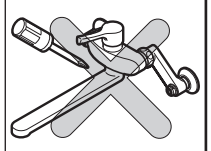
水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 警　告

分解禁止

この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない

破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

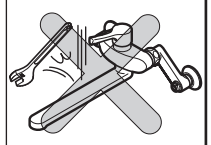


⚠ 注　意

禁　止

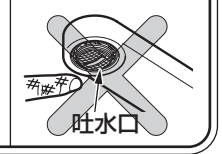
強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



吐水口に汚れた手で触れない

吐水口部に一般細菌が増えやすくなり、体調を損なうおそれがあります。



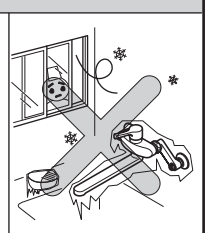
1-2.

⚠ 注　意

必ず実行

凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く
また、寒冷地用の場合は、9. 凍結予防の仕方 を参照し、凍結予防を確実に行う

部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

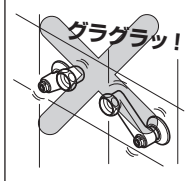


水道水および飲用可能な井戸水を使用する

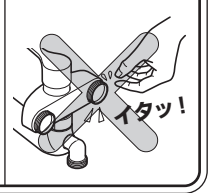
故障や水漏れの原因となります。
また、体調を損なうおそれがあります。

取付脚部や配管に腐食・ひび割れ・水漏れなどがないことを十分に確認のうえ、取り付ける

腐食などがあると、やけどをしたり、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



ねじで手を切るおそれがあるので、取り扱いには十分に注意する



2. 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	0.05MPa
	最高水圧(静止時)	0.75MPa
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1～40℃
	寒冷地用	−20～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用　　途		一般住宅台所用

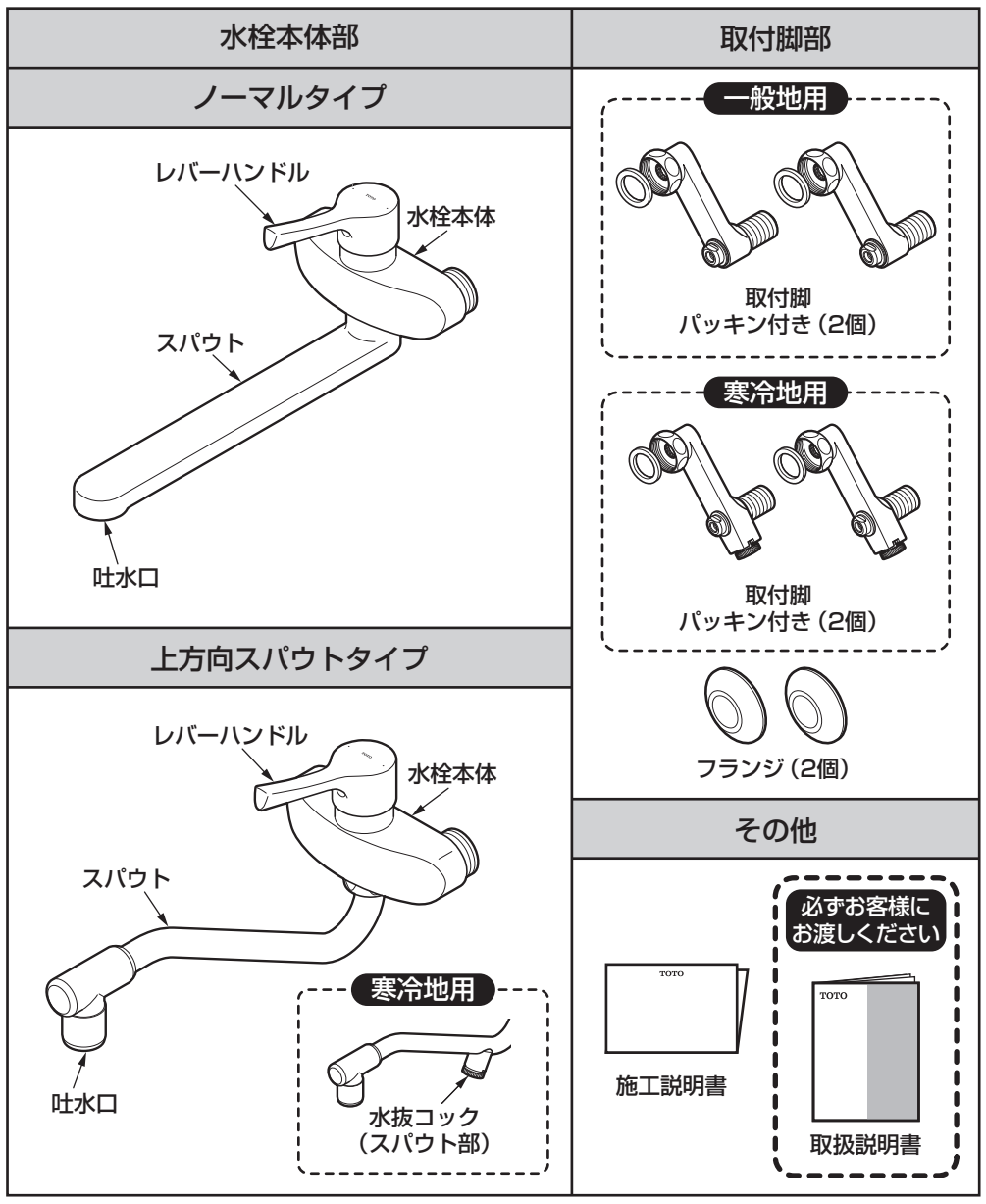
3. 取り付け前に

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
●誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
●給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
●瞬間式給湯機の場合、給湯機の能力・水圧などの条件により、給湯機が着火しないことがあります。

裏面へつづく

4. 部品の確認

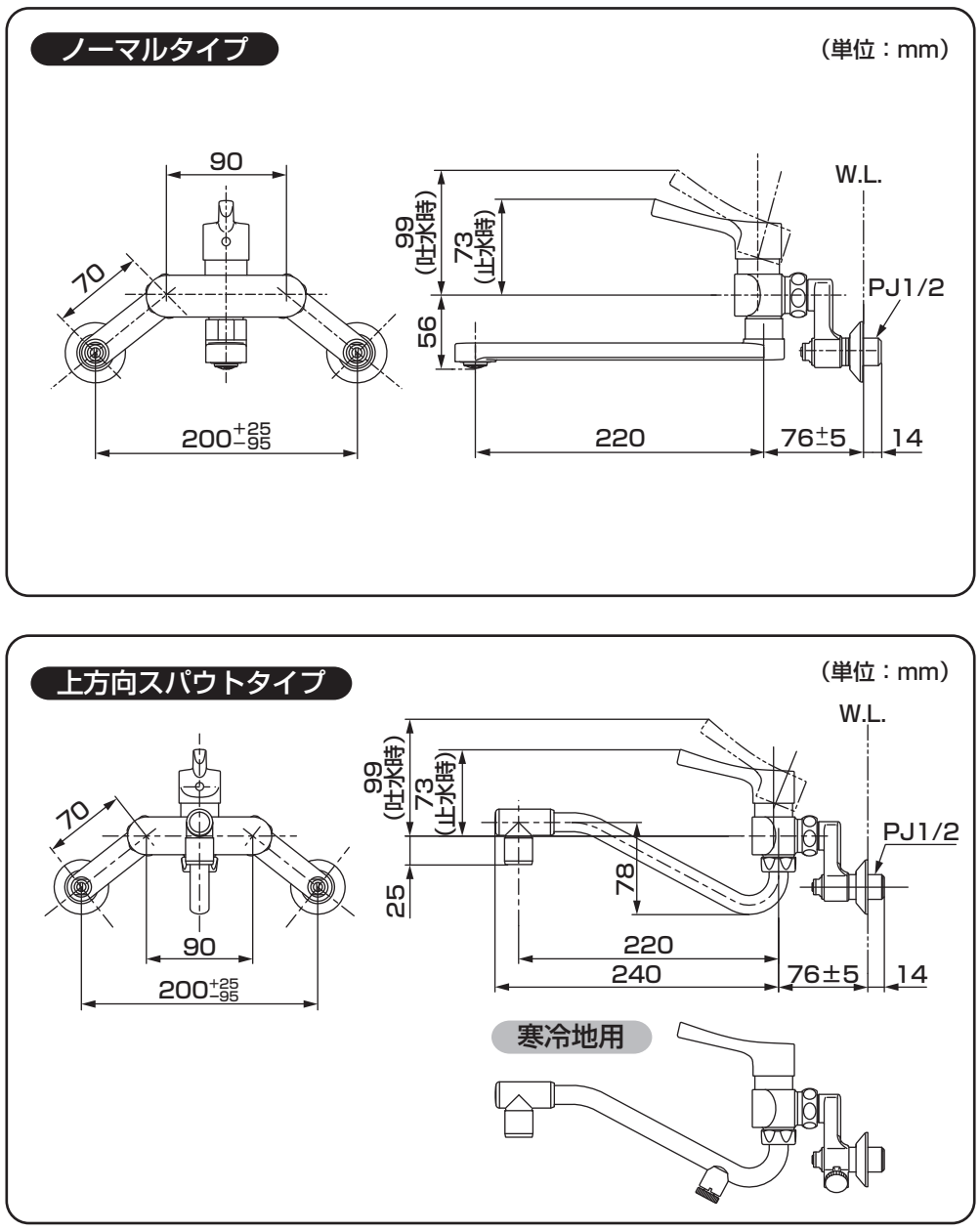
次の部品があることを確認してください。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

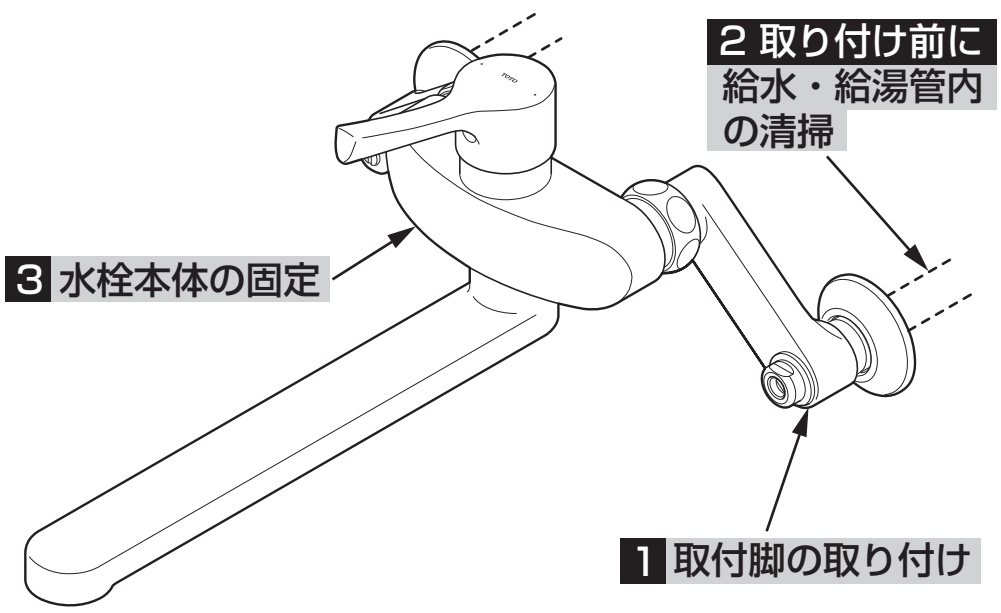
5. 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-1. 施工手順

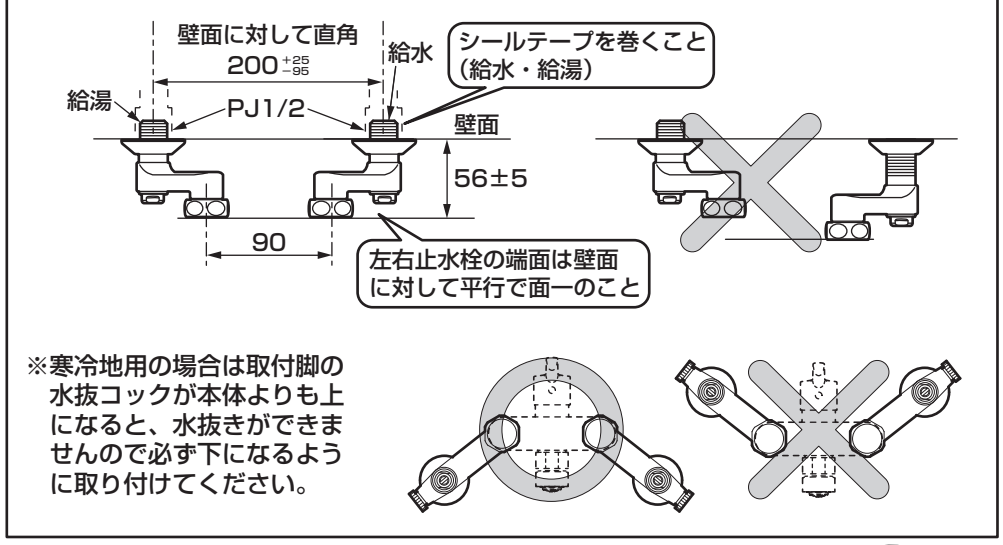
※イラストはノーマルタイプです。



1 取付脚の取り付け

（単位：mm）

取付脚を取り付ける。
（給水・給湯側）



※寒冷地用の場合は取付脚の水抜コックが本体よりも上になると、水抜きができませんので必ず下になるように取り付けてください。

2 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

重要

商品を取り付ける前に
必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などが吐水口に詰まり、以下の事象が発生します。
①吐水量が少ない
②温度調節がうまくできない
給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

バケツなど水受けとなるものを準備し、壁や床に水が飛び散らないよう止水栓をゆっくり開き、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。

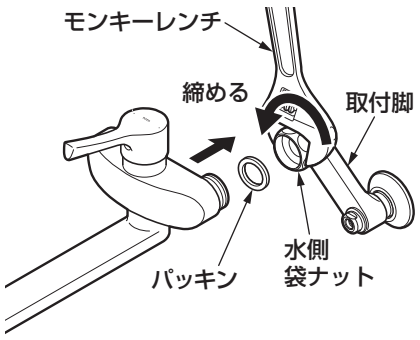
次項へつづく

6-2.

3 水栓本体の固定

①水栓本体を取付脚に取り付ける。

②水平になるように調整しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。



注 意

- **ゆるみがないようにしっかり締めてください。**
  袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- **取付脚は回さないでください。**
  配管との接続がゆるみ水漏れのおそれがあります。
- **パッキンが入っていることを確認してください。**
  パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

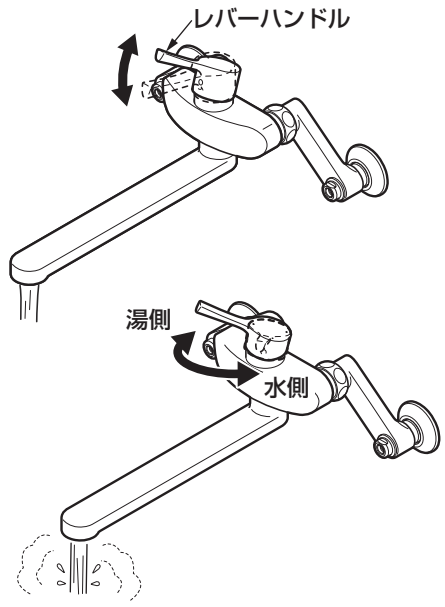
7-1. 施工後の調節

1. 水出し確認

①取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開ける。

②レバーハンドルを上げ下げし、水の出し止めができることを確認する。
また、給水・給湯接続部やすき間などから水漏れがないことを確認する。

③レバーハンドルを左右に回し、温度調節ができることを確認する。



止水栓による流量調節

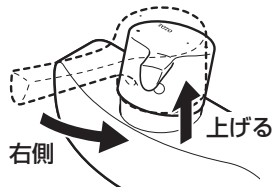
①レバーハンドルを右側（水側）いっぱいに回す。

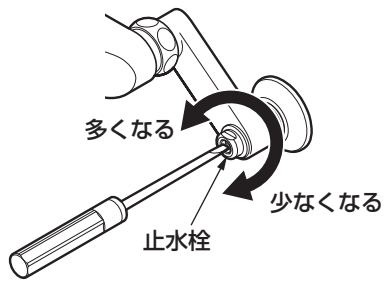
②レバーハンドルを上いっぱいに上げ、全開とする。

③流量が7L/分程度（目盛りのついた計量カップなどで500mlが約4秒）になるように水側止水栓で調節する。

給水圧力・給湯圧力が低い場合は、止水栓を全開にしても流量が7L/分にならないことがあります。

④レバーハンドルを左側（湯側）いっぱいとし、③と同じように湯側止水栓で流量を調節する。





7-2.

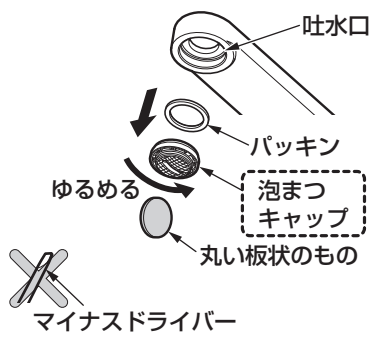
2. 吐水口の掃除

水出し確認後は必ず吐水口を掃除してください。

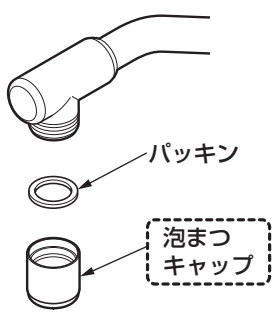
吐水口が詰まると流量が少なくなったり、温度調節がうまくできなくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。
また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。
※吐水口を掃除する際は、必ずレバーハンドルを閉めてから行ってください。
（詳しくは取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください）
※泡まつキャップを取り外すときは、マイナスドライバーなど先の細いものは使用しないでください。

掃除が完了したあとは、必ず水（湯）を出して接続部から水漏れがないか確認してください。吐水が乱れていたり、吐水口およびその周辺から漏れているときは、泡まつキャップを**増し締め**してください。
それでも、**水漏れするときは、再度取り付け直して**ください。

ノーマルタイプ



上方向スパウトタイプ



8. 使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、故障ではありません。
お客様に十分にご説明ください。

現　象	説　明
使い始めに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

裏面へつづく

9. 凍結予防の仕方

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

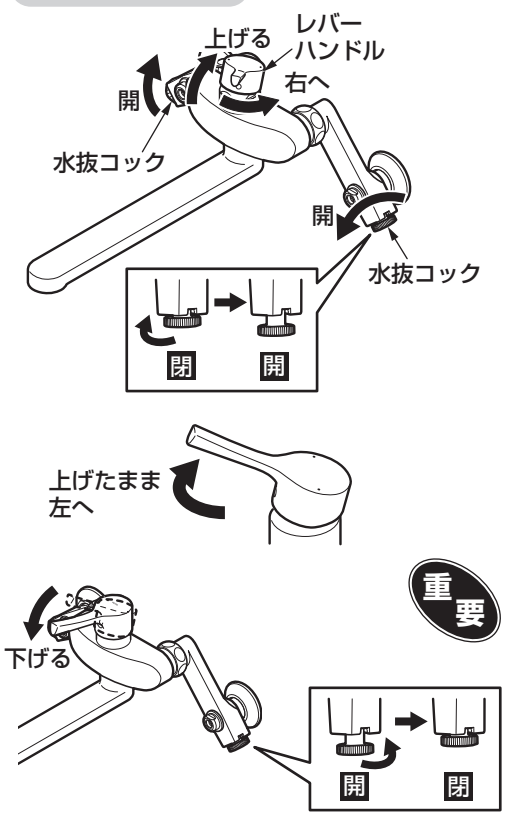
重要

水栓内の水抜き作業を行う前に下記を実行してください。
・配管内の水抜きを必ず実行してください。
・吐水口先端に浄水器を取り付けている場合は外してから水抜き作業を行ってください。
上記を行っていないと、水栓内の水が十分に抜けず凍結のおそれがあります。

下記の手順に従って水栓の水抜きを行ってください。

水抜きをする場合

ノーマルタイプ



❶ レバーハンドルを上げ、水側いっぱいに回す。

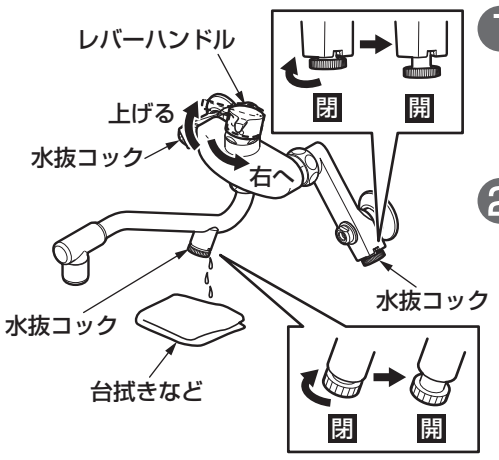
❷ 水抜コックをすべて開ける。
●水抜コック：2カ所

❸ レバーハンドルを上げたまま湯側いっぱいに回し、水栓内の水を抜く。

❹ 水抜き完了後は、必ずレバーハンドルを下へいっぱいに下げる。
(水が出ない状態)
●水抜コック：2カ所

水抜き完了後は必ず水抜コックを確実に閉めてください。

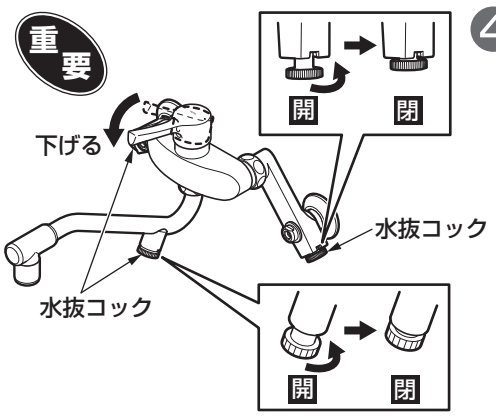
上方向スパウトタイプ



❶ レバーハンドルを上げ、水側いっぱいに回す。

❷ 水抜コックの下に台拭きなどを用意し、水抜コックを開ける。
●水抜コック：3カ所

❸ レバーハンドルを上げたまま湯側いっぱいに回し、水栓内の水を抜く。

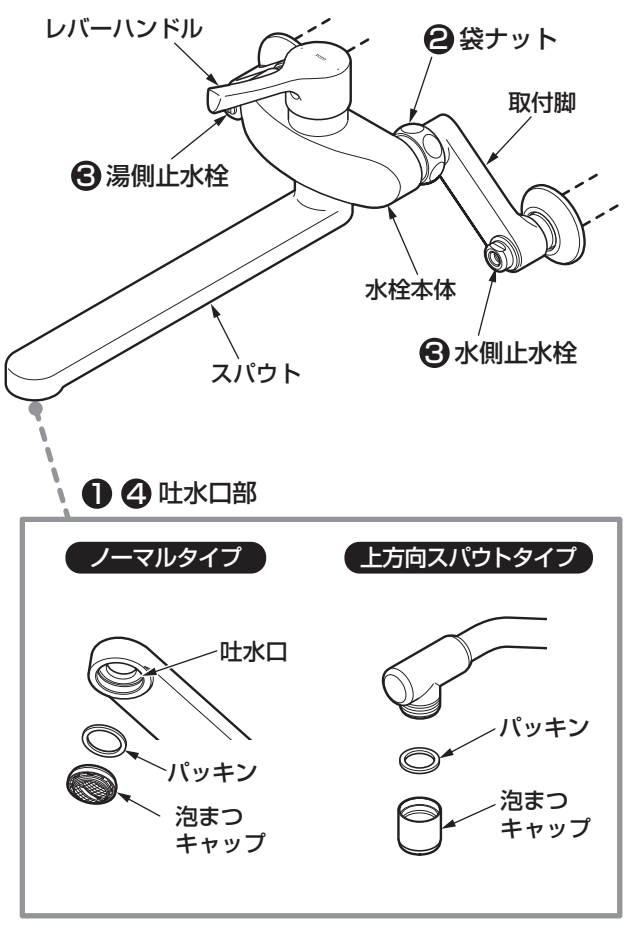


❹ 水抜き完了後は、水抜コックを閉め、必ずレバーハンドルを下げる。
(水が出ない状態)
●水抜コック：3カ所

水抜き完了後は必ず水抜コックを確実に閉めてください。

10. 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

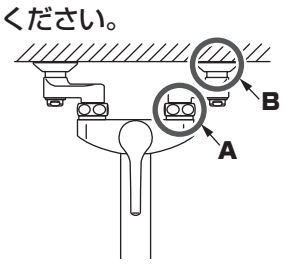


水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

Aから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認のうえ、再度、袋ナットを締め直してください。



6-2.－3 水栓本体の固定 参照

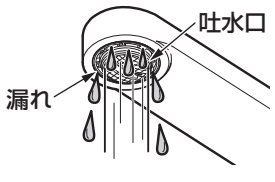
Bから水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどがないことを確認のうえ、再度シールテープを巻き、取り付け直してください。

1-2. 安全上の注意 参照
6-1.－1 取付脚の取り付け 参照

❶ 吐水口およびその周辺から水が漏れていませんか？

7-2. 2. 吐水口の掃除 参照



ガタツキの確認

水栓本体のガタツキがないか確認してください。

❷ 袋ナットのゆるみはないですか？

6-2.－3 水栓本体の固定 参照

流量および吐水温度の確認

流量が多すぎるときや、少ないとき、または温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

❸ 止水栓の開き具合はどうですか？

7-1. 1. 水出し確認 参照

❹ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

7-2. 2. 吐水口の掃除 参照

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。